２－Ｂ－４．
自動車部品輸送の陸上から海上化切替

＜ダイハツ工業(株)＞

１．概　要

シフトした輸送機関	陸上 ⇒ 海上
輸送ルート	池田市 → 前橋市 → 池田市 → 大分市
主な対象貨物	自動車製造部品
導入時期	2004 年 11 月
月間取扱貨物量	4,100 トン／月
荷姿	スチールケース スキッド パレット、等
出荷頻度	ほぼ毎日

２．背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

１）実施理由

- 輸送コストの低減
- 環境問題への対応

２）狙い

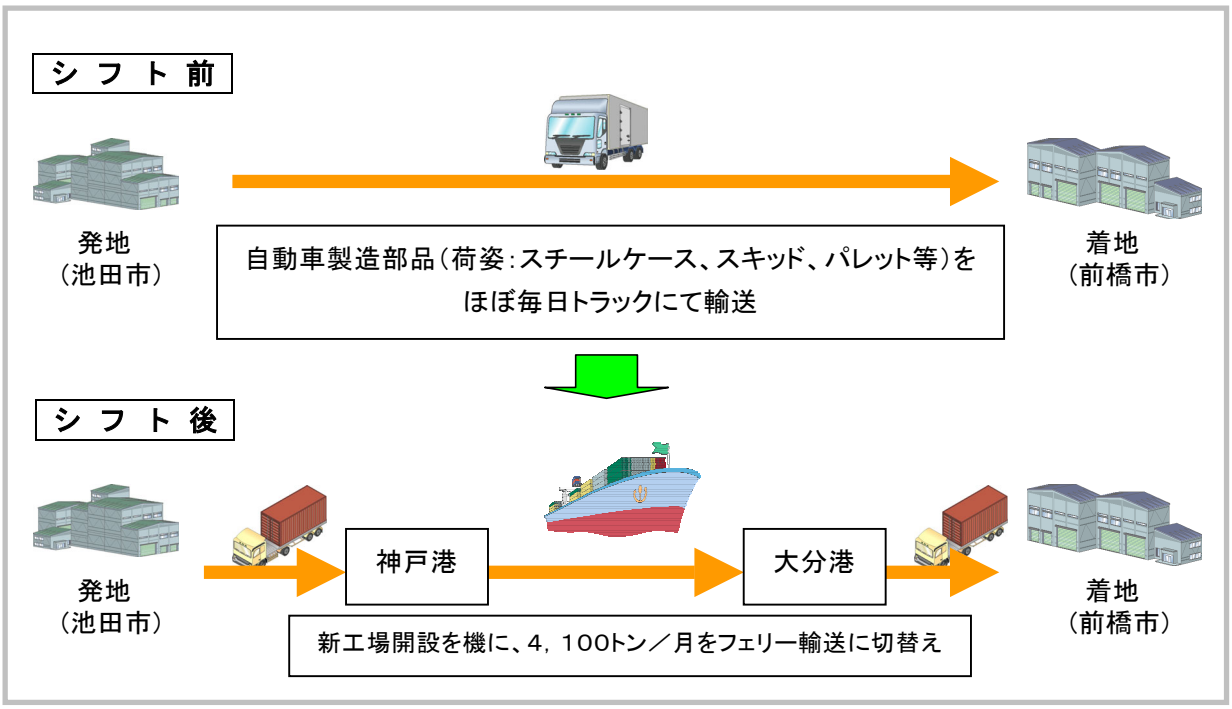
- 自動車組立て工場の移転を機に、コスト面・環境面でメリットの大きい海上輸送に切替え。

３．対策効果

項　　目	対　策　効　果 (実施前を 100 とした場合の実施後の数値: 実施後／実施前×100)
輸送コストの対策効果	15%低減
所要時間の対策効果	200%増
トラック使用台数の対策効果	100%
トラック台キロの対策効果	80%低減
燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果	66%低減

- 新工場開設を機に、陸上中心の部品輸送をフェリー輸送に切替え

４．事業内容



５．課　題

- 鉄道は日々の出荷量の波動への対応がトラックに比べやや劣っており、この点を解決する必要があると思われる。